

beyond2020プログラムについて



平成29年2月16日

内閣官房東京オリンピック競技大会・
東京パラリンピック競技大会推進本部事務局

beyond2020プログラムの概要

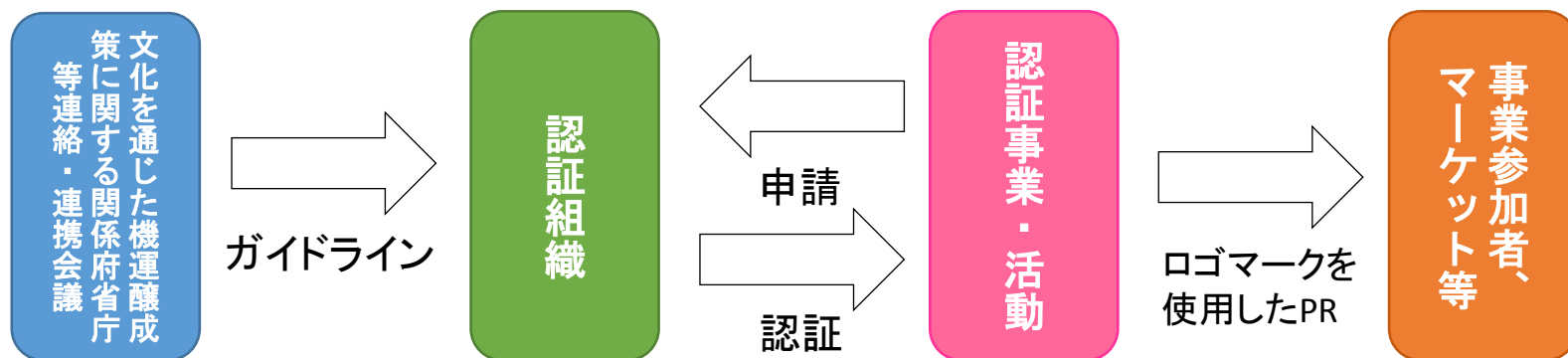
日本の魅力、大募集！！

beyond2020プログラムは、
みんなが参加できる2020年以降を見据えた文化プログラムです。

◆beyond2020プログラムの趣旨

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開する（2016年3月開催の第2回2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議にて決定）。

◆beyond2020プログラム認証の流れ



beyond2020プログラムロゴマーク

◆beyond2020プログラムロゴマーク



[デザインコンセプト]

このロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフにしています。

加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れます。

日本の文化を共に継承し広げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たなる発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマークです。

○認証を受けた事業・活動は、「beyond2020ロゴマーク」を使用することができます。

<ロゴマークの選考について>

○ロゴマークは、全国芸術系大学コンソーシアムの協力のもと、同コンソーシアムに参加する大学の学生から作品を公募。

○応募作品の中から、有識者等による選考、インターネットによる作品への意見聴取等を経て、菅原みこさん（横浜美術大学3年）が制作した作品に決定しました。

【ロゴマーク選考会審査委員】（50音順、敬称略）

青柳 正規	東京大学名誉教授(前文化庁長官)
佐藤 可士和	クリエイティブディレクター
田川 欣哉	takram design engineering 代表
中西 元男	PAOS代表（※委員長）
平田 竹男	内閣官房東京オリンピック・パラリンピック大会推進本部 事務局長

beyond2020プログラムロゴマーク 報道発表

○日テレニュース24(1月27日)

0
24

東京五輪後のレガシー創出へ ロゴ発表

ツイートする

シェアする

2017年1月27日 21:33



全文

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会以降も残る、文化の面でのレガシー（=遺産）を創り出そうという取り組みのロゴマークが発表された。

政府が推進する「beyond2020プログラム」は、2020年以降も見据えて、日本の地域性豊かで多様性に富んだ文化を生かした次世代へのレガシーを創り出そうというプロジェクト。

この取り組みを全国に広めるためのロゴマークが27日、発表された。デザインしたのは横浜美術大学の3年生・菅原みこさんで、「いいね」や「グッド」といった「賛同」のジェスチャーをモチーフにしている。

日本の魅力を発信し、共生社会や国際化につながる事業や活動が対象で、認証を得れば使用できる。丸川五輪担当相は、「大会を文化面でも盛り上げていきたい」と意気込みを語っている。

○NHKニュース(1月27日)

東京五輪契機に日本文化の発信を 政府が認証ロゴ発表

1月27日 20時57分



政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、和食や祭りなどの日本文化を世界に発信するため、政府が認証した事業や活動に付与するロゴマークを発表しました。

政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、和食や祭り、伝統工芸品といった日本文化を世界に発信するため、関係する事業や活動を、「beyond2020プログラム」として認証していく方針です。

こうした中、政府は、芸術系の大学生らに公募したロゴマークの発表式を東京都内で開き、寄せられた39の作品から選ばれた、横浜美術大学3年生の菅原みこさんの作品を発表しました。

ロゴマークは朱色を使い、「いいね」を意味する親指を立てたジェスチャーや、「beyond」の頭文字の「b」などをイメージしています。

発表式に出席した丸川オリンピック・パラリンピック担当大臣は「東京大会を文化でも盛り上げていく。日本全国でマークが見られるような展開をしていきたい」と述べました。

政府は、日本文化を世界に発信する事業や活動の受け付けを始めていて、今後、認証を終えたものから、ロゴマークを付与することにしています。

文化プログラムの推進に向けた取組一覧

		文化を通じた機運醸成策に関する 関係府省庁等連絡・連携会議	大会組織委員会	
プログラム		beyond2020 プログラム	東京2020公認 文化オリンピックアード	東京2020応援 文化オリンピックアード
ロゴマーク				
説明		2020年以降を見据えレガシー創出に資する文化プログラム	「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム	
ポイント		営利・非営利団体を問わず幅広い団体の事業・活動の申請が可能	東京大会の主なステークホルダー（スポンサー、会場関連自治体など）を中心に展開	東京大会のステークホルダー以外の自治体や非営利団体を中心に全国で広く展開
オリンピック・パラリンピックの文言使用		※1	○	○
イベント・事業実施主体	スポンサー企業	○	○	
	国	○	○	
	開催都市（東京都）	○	○	
	会場所在 地方自治体	○	○	
	上記以外 地方自治体	○		○
	非営利団体 (NPO、NGO等)	○		○
	ノンスポンサー 企業	○		

※1：beyond2020プログラムの認証により、オリンピック・パラリンピックの文言使用が許諾されるものではありません。

beyond2020プログラムの認証要件等

◆beyond2020プログラムの認証要件

○日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出するため、以下を認証要件とします。

<beyond2020プログラムの認証要件>

●日本文化の魅力を発信する事業・活動

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含んでいます。

●多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動

- ・ 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- ・ 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

◆beyond2020プログラムの実施主体

○公的機関のほか、民間事業者、その他任意団体等幅広い方が実施する事業・活動が認証の対象となり、営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を認証します。

<beyond2020プログラムの認証の対象となる事業・活動等の実施主体>

- ア 国の行政機関(独立行政法人、特殊法人及び認可法人を含む。)
- イ 地方公共団体(特別区、一部事務組合及び広域連合、地方独立行政法人を含む。)
- ウ 国立大学法人及び学校法人
- エ 公益法人又はこれに準ずる団体
- オ 株式会社等その他法人格を有する団体
- カ アからオまでに掲げる者に準ずると認められる団体

beyond2020プログラムの認証を行う組織

◆認証を行う組織（認証組織） <平成29年2月1日現在>

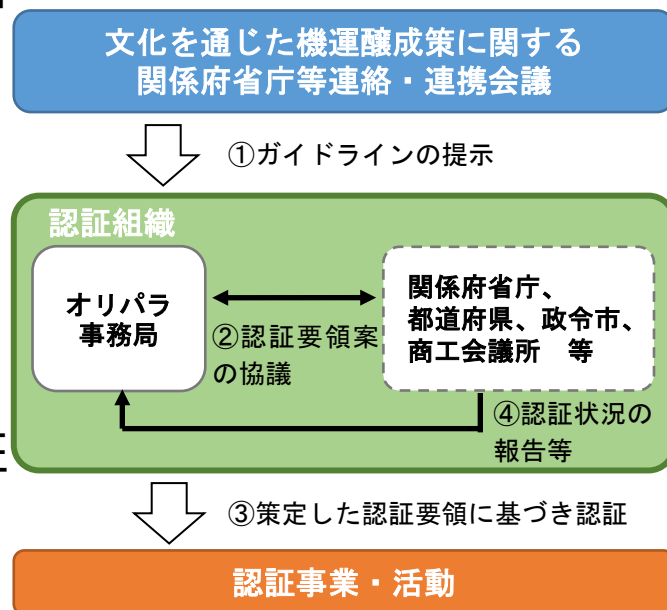
○内閣官房オリパラ事務局（H28.12.26～）

◆認証組織になれる者

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議の構成員及びオブザーバーが属する組織
- (2) 都道府県及び政令市
- (3) 商工会議所

◆認証組織となる手続き

- ① ガイドラインに基づき認証要領案を作成
- ② 内閣官房オリパラ事務局と認証要領案の協議
- ③ 認証要領を策定。認証要領に基づき、事業・活動を認証
- ④ 認証状況を内閣官房オリパラ事務局に定期報告



～認証組織における認証について～

- ・各組織が策定する認証要領では、認証の対象とする事業・活動等の実施主体を限定することが可能。例えば、当該都道府県内に拠点がある団体に限る、当該商工会議所の会員に限る、などの条文を認証要領に追加できます。
- ・認証組織が行う事業・活動については、認証組織自ら認証することが可能。

申請の注意事項 —申請内容は—

◎申請内容について

このような内容が申請内容に含まれている必要があります。

日本文化の魅力発信 + **障害者にとってのバリアを取り除く**
又は
外国人にとっての言語の壁を取り除く

- ・ 地域の祭りで、英語の案内チラシを作成 **OK!**
文化魅力発信 + 外国人対応
- ・ 和太鼓公演で、車いす観覧用スペースを設ける **OK!**
文化魅力発信 + 障害者対応
- ・ 食をテーマにしたフェスティバルで、手話通訳案内を置き、ホームページで英語・中国語・仏語でイベント情報を発信 **OK!**
文化魅力発信 + 障害者対応 外国人対応

このような内容は、認証要件を満たす取組をあわせて実施することが必要です

- ・ 障害者のスポーツ競技大会 ← 日本文化の魅力発信につながる取組が必要です
- ・ 美術館の企画展 ← 障害者が観覧しやすくなる取組や、外国語での案内などが必要です

beyond2020プログラムの認証状況(2月1日現在)

認証件数	15件 (14団体)
主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・埼玉まるごとアニ玉祭～アニメ・マンガまつりin埼玉～ (埼玉県)・「岡本太郎×建築」展 (川崎市岡本太郎美術館)・鹿沼秋まつり (鹿沼秋まつり実行委員会)・2017アクアリウムフェア in FUTAKO TAMAGAWA (日本観賞魚振興事業協同組合)・陸前高田市認定通訳ガイド特区 (岩手県陸前高田市)・2017英語でニッポンを語ろう！コンテストin川越 (「英語の通じる街」実行委員会)・文化芸術のちから集中プログラム(ミナコレ) (東京都港区)
開催地域別の認証件数	<ul style="list-style-type: none">・東北 1件・東京 3件・関東(東京除く) 6件・中部 5件

スケジュール・問い合わせ先

H28.12.26 オリパラ事務局において、認証申請受付開始

H29. 1.31 認証、ロゴマーク付与スタート

H29. 4 ~ オリパラ事務局以外の認証要領を策定した認証組織において
認証申請受付開始(予定)

【申請に関する問い合わせ先】

beyond2020プログラム事務局

(10:00～17:00／土日祝・12/29～1/3を除く)

TEL: 0570-022320

Email: shinsei@beyond2020program.jp

URL: http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/beyond2020/

【認証組織に関すること、その他問い合わせ先】

内閣官房 東京オリンピック競技大会・

東京パラリンピック競技大会推進本部事務局(牧村、林、木下、富本)

TEL: 03-3581-0179 FAX: 03-3581-4355

Email: beyond2020@cas.go.jp